

Compaq Pro UPS 500

クイック インストレーション ガイド

インストールを開始する前に、
必ずこのカードをお読みください。

本書は再生紙を使用しています。



ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、記載もれ等のお気付きの点がございましたら、お買い上げになった販売店へご遠慮なくお申しつけください。また、本書を適用した結果の影響についても責任を負いかねますのでご了承ください。

本書の内容は著作権によって保護されています。したがって、本書の一部または全部を無断で転載または複製することは法律で禁じられています。

© 2000 Compaq Computer Corporation
All rights reserved. Printed in the U.S.A.
© 2000 コンパックコンピュータ株式会社

Compaqは、米国Compaq Computer Corporationの商標です。

Compaq Pro UPS 500
クイック インストレーション ガイド

第3版 (2000年4月)
製品番号 146294-023
コンパックコンピュータ株式会社

安全上重要な注意事項

この注意事項を保管しておいてください。このクイック インストレーション ガイドには、Compaq Pro UPS 500のインストールおよびメンテナンス中に守るべき重要な安全上の注意事項が示されています。この製品をインストールする前に『▲ 安全に使用していただくために』(UPSキットに同梱)をお読みください。



警告: アース漏電による感電を防止するために、次の点に注意してください。

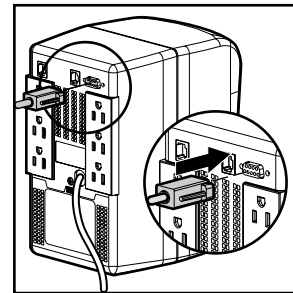
- 商用電源から切り離されているUPSは動作させないでください。
- UPSを商用電源から切り離す前に、保護されている装置をUPSから切り離してください。
- バッテリーをテストする場合は、UPSをコンセントから外さずに、TEST/ALARM RESETボタンを使用してください。Compaq Power Manager Pro UPSソフトウェアおよびドキュメンテーションCDに収録されている『Compaq Pro UPS 500オペレーション/リファレンス ガイド』の「操作」を参照してください。



警告: 高電圧による感電の危険があります。この製品のインストール、定期点検および保守については、AC電源製品の取り扱い手順、注意事項、および危険性を熟知している専門の担当者が行ってください。

注: 装置の定格ラベルは、装置のクラス (AまたはB) を示します。クラスB装置は、ラベルにVCCIのロゴが記載されています。クラスA装置には、ラベルにVCCIのロゴが記載されていません。装置のクラスを確認したら、Compaq Power Manager Pro UPSソフトウェアおよびドキュメンテーションCDに収録されている『Compaq Pro UPS 500オペレーション/リファレンス ガイド』の「規定に関するご注意」を参照してください。

1 通信ポートの接続



Compaq Pro UPS 500に装備されている通信ポートにより、UPSとホストコンピュータがデータを交換することができます。

UPS/コンピュータのインタフェースケーブル (付属) を、UPSの通信ポートからホストコンピュータの適切な通信ポートに接続してください。



注意: 装置の損傷を防ぐために、他のUPSに付属している通信ケーブルを使用しないでください。

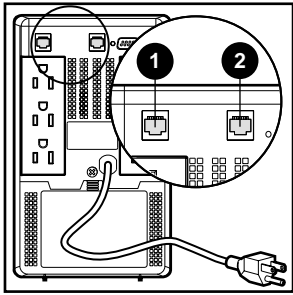
重要: Compaq Power Manager Pro UPSソフトウェアでは、通信ポートを使用する必要があります。

2 Compaq Power Manager Pro UPSソフトウェアのインストール

Compaq Power Manager Pro UPSソフトウェアのインストール要件については、Compaq Power Manager Pro UPSソフトウェアおよびドキュメンテーションCDを参照してください。

3 電話/ファックス サージ プロテクタの接続

Compaq Pro UPS 500 (一部のモデル) には、電話/ファックス サージ プロテクタが装備されていて、UPSが通信機器をサージ電流から保護します。



モジュラー ケーブル (付属) を壁のモジュラー ジャックから "IN" というラベルの付いたUPSのコネクタ (1) に接続します。

モジュラー ケーブルをご使用の装置から "OUT" というラベルの付いたUPSのコネクタ (2) に接続します。

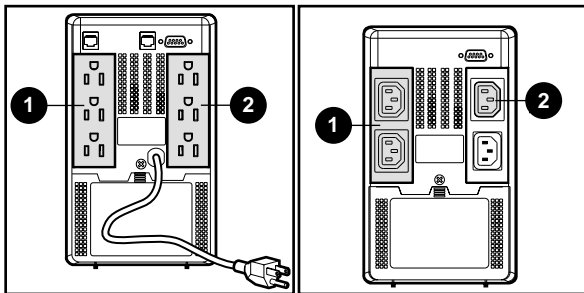
注意: 装置の損傷を防ぐために、電話/ファックス サージ プロテクタをアナログ電話回線またはネットワークにのみ接続してください。デジタルPBXには接続しないでください。

4 UPS負荷の安全性の確認

装置を接続する前に、UPSのバッテリー保護とサージ保護されたコンセントが過負荷にならないことを確認してください。負荷装置のVA定格の合計がUPSの定格500VAを超えないようにします。次の変換式を使用してください。

- 装置の電力がアンペア単位で記載されている場合は、ボルト数×アンペア数=装置ごとのVA
- 装置の電力がワット単位で記載されている場合は、ワット数1.35=装置ごとのVA

5 装置をUPSに接続する



- (停電または電圧低下時に) バッテリー バックアップが必要な装置を、UPSのバッテリー保護とサージ保護されたコンセント (1) に接続します。
- (停電または電圧低下時に) バッテリー バックアップが必要ない装置を、UPSのサージ保護のみされたコンセント (2) に接続します。

注意: レーザ プリンタはUPSに接続しないでください。このタイプのプリンタには瞬間的に高い電流が流れるため、UPSが過負荷になる場合があります。

6 UPSを商用電源に接続する

100Vおよび120Vモデルには入力電源コードが1本取り付けられているため、アース付き商用コンセントに接続してください。

UPSを商用電源に接続すると、UPSの動作モードの選択に関係なくすべてのコンセントに電流が流れます。

警告: 感電や装置の損傷を防止するために、次に点に注意してください。

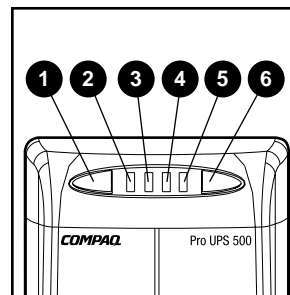
- 入力電源コードは、装置のそばに設置された、簡単に手の届くアース付き電源コンセントに差し込んでください。
- 入力電源コードのアース付きプラグは無効にしないでください。アース付きプラグは安全上重要な機能です。
- 延長コードは使用しないでください。

7 動作モード

UPSを商用電源に接続した後、フロント パネルのインジケータを確認してください。UPSの動作モードは、点灯 (ONモード) または点滅 (STANDBYモード) する緑色のLINE STATUSインジケータ (2) によって示されます。

重要: フロント パネルのインジケータのいずれかが赤色の場合は、Compaq Power Manager Pro UPSソフトウェアおよびドキュメンテーションCDに収録されている『Compaq Pro UPS 500オペレーション/リファレンス ガイド』の「トラブルシューティング」を参照してください。

ON/STANDBYボタン (1) を2秒間押して、希望の動作モードを選択します。ONおよびSTANDBYモードでは、UPSのバッテリーが充電され、UPSのコンセントで電源がONになります。



これらのモードの違いは以下のとおりです。

- ONモードで、バッテリー バックアップが**有効**になります。
- STANDBYモードで、バッテリー バックアップが**無効**になります。

- 1 ON/STANDBYボタン
- 2 LINE STATUSインジケータ
- 3 ON BATTERYインジケータ
- 4 BATTERY LOW/REPLACEインジケータ
- 5 UPS LOADインジケータ
- 6 TEST/ALARM RESETボタン

注意: UPSがSTANDBYモードの場合、停電または電圧低下時にバッテリー バックアップ機能が動作しません。

以上で、インストールは完了です。